

## 川崎駅周辺帰宅困難者対策訓練の実施計画（案）

## 1 目的

大規模地震発生時の川崎駅周辺における帰宅困難者による混乱の抑制に向けて、「川崎駅周辺の災害時における行動ルール（案）」による対応の検証を行うため、鉄道事業者、一時滞在施設、周辺施設等の関係者が連携した安全確保、避難誘導及び一時滞在施設開設訓練を実施する。

## 2 訓練実施日

平成25年11月20日（水）8：30～9：45（訓練） 10：00～（講評）

## 3 実施場所

一時滞在施設：川崎アゼリア等2、3箇所

情報受発信拠点：川崎フロンティアビル2階「ホワイエ」

その他施設：東口・西口駅前広場、駅周辺大型商業施設等

## 4 参加者 約500名

## 5 訓練内容

## (1) 訓練要領

- ・訓練開始（発災）と同時に、商業施設・一時滞在施設・駅は一斉に施設の安全確保行動と情報収集を行うとともに、帰宅困難者による駅前の混乱に備えるため、情報受発信拠点（川崎フロンティアビル）に人員を派遣する。
- ・川崎フロンティアビル2階に情報受発信拠点を設け、一時滞在施設の開設状況、帰宅困難者の状況等の情報を把握し、駅周辺に配置する誘導員に情報提供を行う。
- ・川崎区側（市役所第3庁舎1階ロビー）・幸区側（西口の施設（未定））に集結した帰宅困難者約500名が川崎駅前広場への移動を開始する。
- ・駅へ向かう帰宅困難者に対し商業施設の誘導員が案内を行いながら、東口・西口の駅前広場へ誘導する。
- ・駅前に集まった帰宅困難者を情報受発信拠点からの情報を基に収容可能な一時滞在施設へ誘導する（訓練終了）
- ・訓練終了後、商工会議所2階にて講評を行う。

## (2) スケジュール

時間	訓練内容
8時30分	○ 駅前周辺施設による、安全確保行動および、情報発信・収集活動の開始 ○ 区役所および一時滞在施設による、情報受発信拠点への連絡員の派遣 ○ 市役所による災害情報の発信（メール、ツイッター、災害ポータル等）
8時40分	○ 情報受発信拠点の開設（川崎フロンティアビル2階）および情報収集開始
8時50分	○ 一時滞在施設の開設準備および開設後の情報受発信拠点への連絡 ○ 帰宅困難者役の移動の開始（川崎・幸両区の集合場所から川崎駅前へ）
9時00分	○ 駅前周辺施設の人員による、帰宅困難者の誘導（川崎駅前3地点へ）
9時10分	○ 帰宅困難者へ駅職員による、一時滞在施設マップの配布の開始 ○ 情報受発信拠点と連携した、一時滞在施設への帰宅困難者の誘導開始
9時30分	○ 一時滞在施設の受入満了に伴う、他の一時滞在施設への案内を情報受発信拠点から誘導員に指示し、帰宅困難者全員を一時滞在施設に収容する。
10時00分	講評

帰宅困難者集結のイメージ (要図)



訓練開始(8時30分)

# 帰宅困難者訓練参加各機関の行程表(時系列)

商業施設	一時滞在施設	駅	区役所・市役所	情報受発信拠点	帰宅困難者役
<ul style="list-style-type: none"><li>◆発災に伴う各種対応</li><li>・施設内の安全点検を行う。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>◆発災に伴う各種対応</li><li>・施設内の安全点検を行う</li><li>・区災害対策本部からの依頼に基づく、一時滞在施設の開設準備を行う。</li><li>・情報受発信拠点への連絡員の派遣を行う。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>◆発災に伴う各種対応</li><li>・区役所本部へ駅の状況を報告する。</li><li>・駅員を帰宅困難者が集まる場所へ配置する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・情報収集を行う。</li><li>・区役所職員が情報受発信拠点へ参集する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>開設を準備する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・川崎区・幸区両集合場所にそれぞれ参集する。</li><li>・ビブスを着用し、職員からの説明を受ける。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>施設前を通行する帰宅困難者役に対し、一時滞在施設の情報入手が駅前広場で行われる旨の案内を行う。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>一時滞在施設を開設後、情報受発信拠点に連絡する。同時に、施設入口に人員を配し、帰宅困難者の受入を開始する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・一時滞在施設マップの配布を行い(開設している一時滞在施設に○を付けるなどの工夫をする)冷静な移動を呼びかける。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・情報受発信拠点への情報提供を行う。</li><li>・各種広報ツールを使用し市の被災情報を提供する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>情報収集と、情報に基づく帰宅困難者の誘導プランの検討をする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>駅前広場に向かって複数のルートで移動を開始する。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>施設の満了に伴う、帰宅困難者の受入完了を情報受発信拠点に伝えるとともに、空きのある他の一時滞在施設の案内を行いながら、帰宅困難者全員を収容する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・情報受発信拠点から得た情報をトラメガ等でアナウンスする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・駅前で混乱が生じている場所への職員の派遣等、状況に応じた対応を行う。</li><li>・備蓄品を一時滞在施設へ搬送する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>ホワイトボードや地図などを使用した情報収集の継続と、駅周辺の状況把握を行い、一時滞在施設の満了に伴う駅前誘導員への誘導内容の変更指示等を行う。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>商業施設職員の案内や、駅前広場の誘導員から、災害情報、鉄道の運行、一時滞在施設の情報等入手する。</li></ul>
					<ul style="list-style-type: none"><li>移動の際や一時滞在施設による受入に際しては、要援護者を優先するなど、帰宅困難者同士が互いに協力し、一時滞在施設で備蓄品(啓発物品)を受け取り施設内で待機する。</li></ul>

訓練終了(10時)